



福祉施設・事業所が「真心・もてなし・感謝」を込めて販売

「2016希望郷いわて国体」冬季大会で約100品目の製品を販売



県内15か所の事業所製品、約100品目を販売し、交流を深める

冬季大会（スケート・アイスホッケー競技会、スキー競技会）に出店した就労支援事業所など

- ヒソプ工房（盛岡市）
- ファーム仁王（盛岡市）
- 盛岡市アビリティセンター（盛岡市）
- となんカナン（盛岡市）
- @かたつむり（大船渡市）
- 北萩寮（北上市）
- 北上市アビリティセンター（北上市）
- えさしふれあい工房（奥州市）
- ワークセンターわかくさ（奥州市）
- シャローム事業所（一戸町）
- さくら製作所（紫波町）
- あすリード本舗（久慈市）
- ワークジョイかわさき（一関市）
- 県社協障がい者福祉協議会
- 県社協共同受注センター

復興のシンボルとして全国に感動と感謝を発信した「2016希望郷いわて国体」冬季大会では、全国から集う選手たちが120パーセントの力を発揮できるよう、県民、競技関係者、企業、団体、市町村などが力を結集し、オール岩手で大会を盛り上げました。

各競技会場には、おもてなしコーナーや売店コーナーなどが設けられ、岩手らしさのつまった特産品や記念品などが販売されました。県社協障がい者福祉協議会・県社協共同受注センターの売店コーナーには、この日のために事業所等が開発したおみやげ用のオリジナル商品など、合わせて15事業所等の約100品目の商品が並びました。

連日、県社協及び事業所職員が復興支援への感謝とおもてなしの心を込めて販売し、県内外の方々と交流を深めました。スピードスケートの応援にき

た青森県八戸市の壬生洋子さんと池田真由美さんは「福祉施設の商品と知らずに、おみやげ用に購入しましたが、とても嬉しい」と笑顔。

販売スタッフの1人川村留利子職員（ファーム仁王）は「手づくりの良さを大切にしたい商品揃いで、自信を持って販売しています」と全国の方々に福祉施設の商品を笑顔で勧めていました。

販売に携わった県社協福祉経営支援部齊藤副部長は「事業所商品は年々レベルアップしており、商品のクオリティが高まっています。冬季大会は障がい者が丹精を込め、工夫を凝らした数多くの商品を全国に発信する絶好の機会になりました」と話し、今後も手づくりの良さを大切に、商品力、PR力、流通力を高め、商品の販売促進と、利用者工賃のさらなる向上を図りたいと意気込んでいます。

商品のお問い合わせは 福祉経営支援部（担当：齊藤まで） ☎019-601-7031